

バイオウェザーサービス

■ バイオウェザーサービスとは

人々の健康は、気象や気候の変動に大きく影響されます。健康と気象・気候との関係を明らかにして、その変化を事前に予測することができれば、病気の予防や健康維持に大きく貢献することができます。バイオウェザーサービスは、気象・気候・環境などの変化の予測をもとに、健康に関する予報を行い、病気の予防や健康維持に役立てることを目指したサービスです。この健康に関する予報のことを医学気象予報と呼びます。

バイオウェザーサービスは、当社とフジテレビビューチャネット株式会社が共同で進めている事業で、ホームページ

(<http://www.bioweather.net/>)の運用をはじめとして、テレビ局への情報提供(フジTV「めざまし天気」)等を行っています。今後は、健康関連企業や個人向けにも情報提供を進めていく予定です。

気象や気候に対する感受性には個人差があります。個々人の体調変動や環境条件への反応をもとに、個人ごとに個別の予測式を作ることで、より精度の高い予報を提供することが可能になります。これを実現するのが「マイカルテサービス」(仮称)です。現在、ぜん息やリュウマチ等の気象の影響が強く患者数が多い疾病について、マイカルテの実現に向けた研究開発を進めています。さらに、大気汚染等の化学物質、温暖化・酸性雨・黄砂等のグローバル規模の環境・気候変動等を予報に取り入れ、総合的な健康管理情報の提供を目指しています。



バイオウェザーサービスホームページ

■ バイオクリマ研究会

医学気象予報を実現するためには、気象学・環境科学・医学等の広範にわたる研究者の協力的な研究の推進が欠かせません。これを実現するために、当社はバイオクリマ研究会を立ち上げました。バイオクリマ研究会は、日本生気象学会のメンバーを中心に編成した研究会であり、現在の会員数は約20名です。研究会は、医学気象予報を実用化することを目的として、既往知見の整理、ドイツ等の先進事例研究、データ解析等を行い、予報アルゴリズムの確立のための活動を行っています。また、予報だけでなく、発症の予防や応急処置などの情報についても整備し、疾病予防や健康維持に役立つデータベースの構築を行っています。

